

丸の内のイノベーション拠点のフラッグシップ「EGG JAPAN」が 増床リニューアル・リブランディングし「EGG」として再始動

三菱地所株式会社はこのほど、東京・丸の内の新丸ビルにおいて運営するイノベーション施設「EGG JAPAN」を「[EGG](#)」に改称、増床リニューアル・リブランディング（以下、リニューアル）を行い再始動しました。

今回のリニューアルでは、オフィスエリアの拡張と併せ、既存オフィスとラウンジスペース（共用部）のリノベーションを実施しています。また、リブランディングの一環として丸の内に点在するコミュニティやワークプレイス^{*1}との連携を行い、丸の内働くハブになるほか、[The M Cube](#)^{*2}や [TMIP](#)^{*3}などのネットワークの活動をサポートします。

三菱地所は、2000年よりベンチャー支援組織「丸の内フロンティア」を立ち上げ、2007年には「EGG JAPAN」を開設、日本・海外の成長企業の事業拠点として運営をしてきました。現在国内外のテクノロジー企業の存在感は大きく増し、日本・東京のイノベーションエコシステムの重要性が再認識されていますが、今回のリニューアルを通じて、今後一層国内外の成長企業の集積を図り、新しい技術やビジネスを推進する企業間の協業・共創機会に溢れるまちとしてエリアの付加価値向上を目指すとともに、日本の競争力向上に寄与してまいります。



▲EGG リニューアル画像

■リニューアルの概要

【名称・ロゴ変更】

従前の施設名称「EGG JAPAN」は、開設当時の名称「日本創生ビレッジ」の英語名「Entrepreneur Group for Growing JAPAN」の頭文字を取ったものでしたが、開設当初に主なテナント対象としていた「日本を牽引していくベンチャー企業」だけでなく、現在は海外ベンチャー（海外成長企業の日本進出）や起業家なども多く入居していることから、実態に即するとともに、より海外の方にとって親しみやすい名称とすることを期待し、「EGG」に改称しました。



360° Innovation Place

オンラインとオフラインを組み合わせるハイブリッドワーク時代に、
理想の“働く”体験とは何か
丸の内だからこそできる、新しいイノベーションのあり方とは何か
EGG はオフィスと交流スペースを兼ね備え、
丸の内という街全体で働くハブとなる 360°Innovation Place です。
五感を刺激し、自宅よりも快適に働ける空間。
自然とコミュニケーションが生まれ、
特別な体験をもたらすコミュニティ。
きめ細やかなサポートサービスや、丸の内の各施設との連携まで。
ビジョンをエンパワメントするあらゆる上質な体験で、
あなたのビジネスの可能性を広げていきます。

【リブランディングの EGG の位置づけ】

これまでの「EGG JAPAN」には、「事業開発支援オフィス」と「東京 21c クラブ（現 The M Cube）」の2つのスペース（施設）が包含されていましたが、今回のリブランディングを機に、「EGG」＝ハード（施設名称）、「The M Cube」＝ソフト（丸の内における起業家・スタートアップ支援ネットワーク）」と位置づけを変更しました。The M Cube は、EGG を中心に活動しながらも、EGG という場所にとらわれない丸の内の起業家ネットワークを一層強化し、EGG は The M Cube や TMIP といったネットワークの活動をサポートすることで、「丸の内働くハブ」の機能を強化していきます。

The M Cube のリニューアル詳細はこちら：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec221201_mcube.pdf

【施設の拡張および設備の充実】

オフィスエリアの拡張と併せ、既存オフィスとラウンジスペース（共用部）のリノベーションを実施しました。本リニューアルでは、デザインのアップデートのみならず多様な働き方に対応したオフィスとラウンジスペースの提供価値について見直しを行い、施設内設備を拡充しました。

- －施設全体：約 1,900 m²→約 2,300 m²
- －イベントスペース：収容人数を 100 名から 130 名に拡大
- －その他：ラウンジスペースの拡大、フォンブースの増設、ソロワークスペースの設置など

BEFORE

エントランス



AFTER



「人が自然と集まる」ことを企図し、Gathering Fire（暖炉）を新たに EGG の象徴に

会議室



東京駅を一望できる、直訳すると植物園となる緑豊かな Winter Garden エリア

オフィススペース



採光を重視した明るいオフィススペース。スペース内に会議室やソロワークブースを設置し多様な働き方に対応

イベントスペース



最大 120 名程度収容可能なイベントスペースは、音響機器も拡充しイノベーションの可能性を秘めた空間に

ラウンジスペース



ラウンジにはバーとカフェが併設。ラウンジ内のフォンブースやワークスペースも拡充し多様な働き方に対応

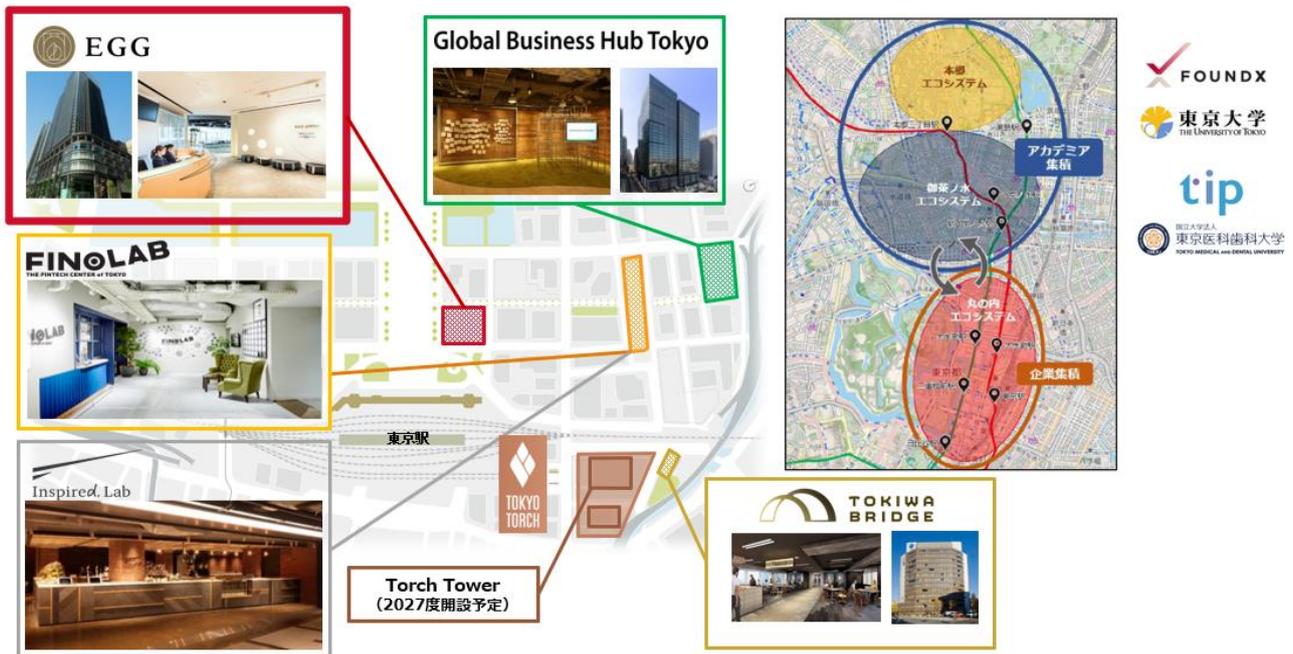
■「EGG」概要

名 称： EGG (エッグ)
開 設 日： 2007年5月
リニューアル日： 2022年11月
所 在： 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 新丸の内ビルディング 10F・9F
面 積： 2,337.39m² (707坪)
運 営： 三菱地所株式会社
設計監理： March and White Design^{※4} (英国・ロンドン) (全体設計)
株式会社メック・デザイン・インターナショナル^{※5} (ローカル設計)
現 況： 24社入居 (海外：19社 国内：5社) 2022年11月末日時点
※入居企業の詳細はこちら：<https://xtech.mec.co.jp/members>

■ (参考) EGGの変遷

- 2000年 丸の内エリアからベンチャー企業を数多く輩出することを企図し、EGG JAPAN の先駆けとして「丸の内フロンティア」が誕生。大企業や専門機関、投資会社を中心としたベンチャー支援組織として活動開始。
- 2002年 ベンチャー企業の他、多様なメンバーで構成されるコミュニティ組織として「東京 21c クラブ」(現 The M Cube) が設立、運営される。(2007年に EGG JAPAN が開設されて以降は、EGG JAPAN の中核として機能。)
- 2007年 新丸ビル 10階に EGG JAPAN を開設。国内のアーリーステージのベンチャー企業を主な対象とした「小割インキュベーションオフィス」と「東京 21c クラブ」の機能を融合させた施設として誕生。当時、日本国内におけるスタートアップ向け施設は数少なく、先駆的な取り組みとしてビジネス開発支援オフィスをスタート。
- 2010年 日本に進出するインド企業およびインド進出を狙う日本企業を集めた「インドエコノミックゾーン」を開設。
- 2013年 新丸ビル 9階に EGG JAPAN を拡張。国内ベンチャー企業の他、海外の成長企業も対象として拡大。EGG JAPAN を当社が取り進める「成長戦略センタープロジェクト」の実拠点として位置づける。シリコンバレーのキープレーヤーとの連携を進めるほか、海外成長企業の日本進出もサポート等を行う。

■ (参考) 丸の内のスタートアップ向け施設



<注釈>

- ※1：Global Business Hub Tokyo、FINOLAB、Inspired.Lab や xLink など当社が展開するコミュニティおよびワークプレイス。
- ※2：2002年に発足した「東京 21c クラブ」をリニューアルした三菱地所が運営するイノベーションコミュニティ。
- ※3：Tokyo Marunouchi Innovation Platform の略称。大手町・丸の内・有楽町（大丸有エリア）のイノベーションエコシステム形成に向けて、大企業とスタートアップ・官・学が連携して社会課題を解決することで、グローバルなマーケットに向けたイノベーションの創出を支援するプラットフォームです。
- ※4：ロンドン、ニューヨーク、ロサンゼルスを拠点に、生活・仕事・遊びのための空間を創造する先進的な専門家によるグローバルインテリアデザイン会社。住宅、ウェルネス、商業、ホスピタリティデザインを統合したプロジェクトに優れており、過去にはロンドンの老舗会員制クラブであるアーツクラブの設計なども実績があります。研究主導のアプローチである経験中心デザインを用いて、オーディエンスを理解し、世代を超えて生活を向上させる空間を創造しており、既成概念にとらわれない、信頼性の高いインテリアデザインの美学を追求しているのが特徴。
- ※5：三菱地所グループの一員として、よりよいインテリアデザインを追求。設計、コンサルティング、デザイン、施工、リテールまで幅広いサービスを提供。オフィス、レジデンス、ホスピタリティ空間などのインテリアデザインを通じて、ニーズに応えるとともに、真に価値ある社会実現に貢献。

以 上